

# 白石町観光振興基本計画

魅力ある自然と暮らしが  
体験・実感できる観光まちおこし



平成 28 年 3 月

白 石 町

# 目 次

はじめに

## 第1章 観光の現状

- 1-1 地域資源・観光資源の現状…………… 2
- 1-2 観光の実態……………15
- 1-3 観光施策の状況……………17

## 第2章 観光振興の課題

- 2-1 上位計画・関連計画……………19
- 2-2 課題……………22

## 第3章 観光振興基本計画

- 3-1 コンセプト・基本方針……………23
- 3-2 基本施策……………25
- 3-3 アクションプログラム……………31
- 3-4 推進のための役割と体制……………39

## 資 料

- 資料1 観光関連団体ヒアリング……………40
- 資料2 白石町観光振興協議会の開催概要等……………44

# はじめに

## 計画の趣旨

---

白石町は、杵島山地とそのすそ野にひらけた豊かな自然風土と長い歴史をもつ町として発展を続けています。平成 17 年に白石町・福富町・有明町が合併し、新たに白石町となり、第 2 次白石町総合計画では「人と大地がうるおい輝く豊穡のまち」を基本理念として掲げ、計画的なまちづくりをすすめています。

しかしながら、これまで観光に関する明確な将来ビジョンがなく、交流人口も少ない状況にあります。

このようなことから、観光交流人口の拡大を図るとともに、観光交流を通じた地域住民の地域に対する愛着の醸成、定住魅力の向上、新たな雇用確保など、産業・経済面だけにとどまらず、まちづくりの一環として「観光まちづくり」を推進することが期待されています。

そこで、白石町の有する観光資源を活かした観光振興の基本理念や基本方針、取り組み施策、推進体制等を示し、白石町ならではの観光を目指し、実現するための白石町観光振興基本計画を策定します。

## 計画の位置付け

---

白石町観光振興基本計画は、第 2 次白石町総合計画の個別計画として位置付けられるもので、その他の個別計画との連携を図るものであり、また国、県の観光関連計画との整合性のあるものとします。

## 計画の期間

---

白石町観光振興基本計画は、平成 28 年度から平成 37 年度までの 10 年間とします。

なお、白石町総合計画の見直しや今後の社会経済情勢の変化、観光振興関連の事業進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行っていきます。

# 第1章 観光の現状

## 1-1 地域資源・観光資源の現状

### (1) 町の概要

#### ① 位置

白石町は、佐賀県の中央・南部に位置します。佐賀市中心部（佐賀県庁）から白石町中心部（白石町役場）までの直線距離は、約16キロメートルです。

#### ■ 白石町の位置



## ②地勢

白石町の面積は、99.56平方キロメートルで、佐賀県内20市町のうち8番目に広い面積です。南北・東西の距離は、南北11キロメートル、東西15キロメートルです。

白石町は、六角川と塩田川に挟まれ、西は犬山岳（標高342メートル）を中心とした山並みを背に、東は有明海に面しています。犬山岳から白岩山の山林を除くと、標高10メートル未満の平坦地が広がる中に水路が縦横に走り農地、住宅地となっています。

### ■白石町の地勢（国土地理院WEB閲覧図）



### ③気象

白石町の気象は、気温の観測状況から全般に温和な気候で、内陸型気候区の特徴を示しています。夏は、降水量や猛暑日が多く、有明海側より吹き付ける風による塩害が発生しやすい状況にあります。冬は、積雪はほとんどありませんが、北西の季節風が吹くため寒気が感じられ、乾燥しやすくなっています。

■気象概要（平成 24 年白石観測所 - 気象庁データ）

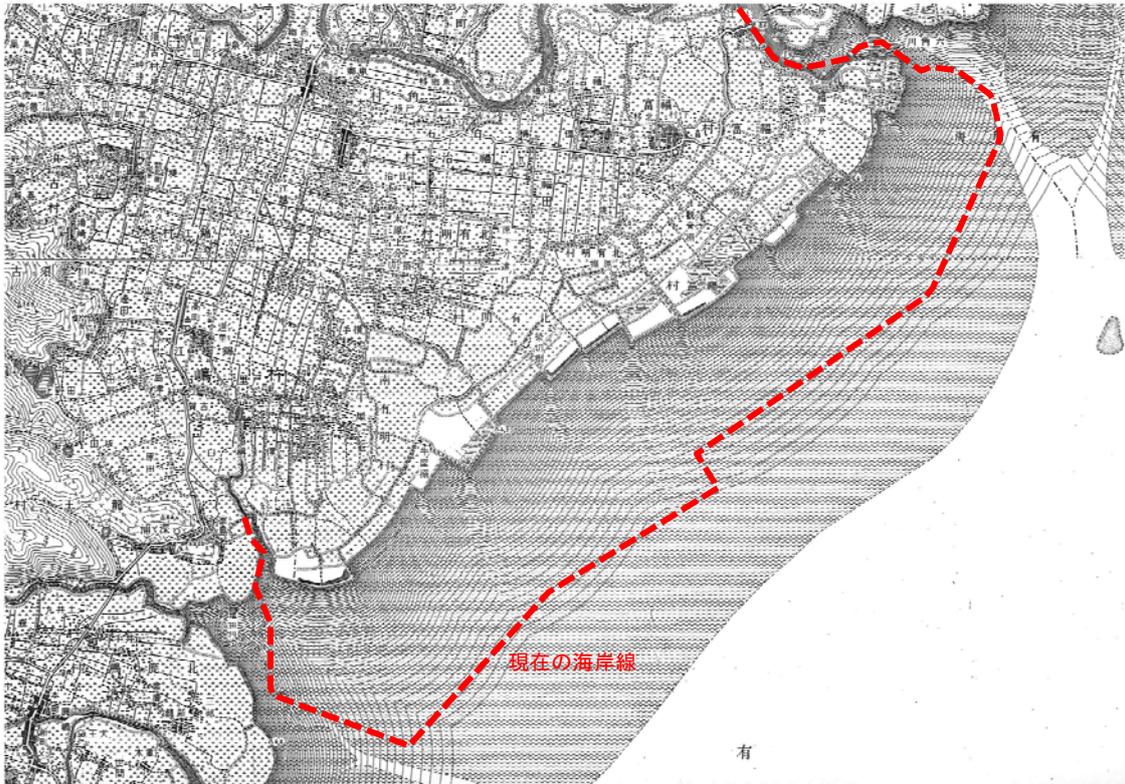
	降水量(mm)		気温(℃)			風向・風速(m/s)		日照時間(h)
	合計	日最大	平均	最高	最低	平均風速	最大風速	
1月	39.5	16.5	5.1	16.9	-4.8	2.0	8.8	170.2
2月	103.5	27.0	6.3	18.1	-1.9	2.5	9.6	122.7
3月	119.0	51.5	10.2	23.4	-2.6	2.6	9.7	186.5
4月	67.5	24.0	14.2	25.8	1.6	2.3	10.0	176.7
5月	101.5	47.5	19.1	34.8	5.4	2.6	8.4	259.2
6月	132.5	39.0	22.1	33.0	17.0	2.5	8.2	97.7
7月	441.0	167.5	26.1	37.3	19.9	2.5	12.0	139.4
8月	492.0	102.5	25.8	33.8	20.4	2.4	9.8	84.9
9月	147.5	57.0	23.0	32.5	15.9	1.8	8.6	156.1
10月	79.5	40.0	18.2	29.3	6.3	2.4	12.8	194.9
11月	101.0	40.5	12.7	21.8	2.6	1.9	9.3	150.0
12月	60.0	24.0	5.4	16.5	-3.9	2.7	10.5	126.6

### ④歴史

弥生時代から耕作地としてひらかれ、中世条里制の地割は「六ヶ里」「廻里」「戸ヶ里」の地名が残る国道 207 号地域以西で行われました。鎌倉時代の海岸線は、秀津、築切、牛屋を南北に結ぶ線ではないかと言われており、その後現代まで幾多の干拓事業で農地が造成されてきました。

明治 22 年（1889 年）4 月 1 日に 町村制施行により、現在の町域に相当する福治村、六角村、須古村、橋下村、北有明村、福富村、錦江村、龍王村、南有明村が発足しました。その後、村の合併、町名変更が繰り返され、平成 17 年（2005 年）1 月 1 日に白石町、福富町、有明町が合併し、新町制による白石町となりました。

■明治 33 年測量図（国土地理院発行 5 万分の 1）



■昭和 16 年修正図（国土地理院発行 5 万分の 1）

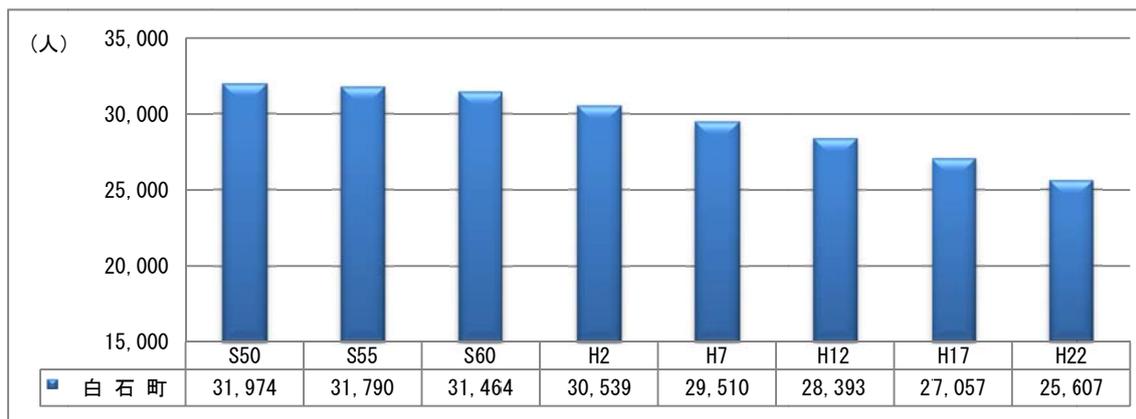


## ⑤人口・世帯

### ア. 人口

白石町の人口を国勢調査によりみると、年々減少を続けて平成 22 年人口では 25,607 人です。昭和 50 年からの 35 年間で約 6,400 人が減少し、これは年平均約 180 人減、減少率は年平均約 0.6%です。

#### ■人口（実数）の推移（各年国勢調査）



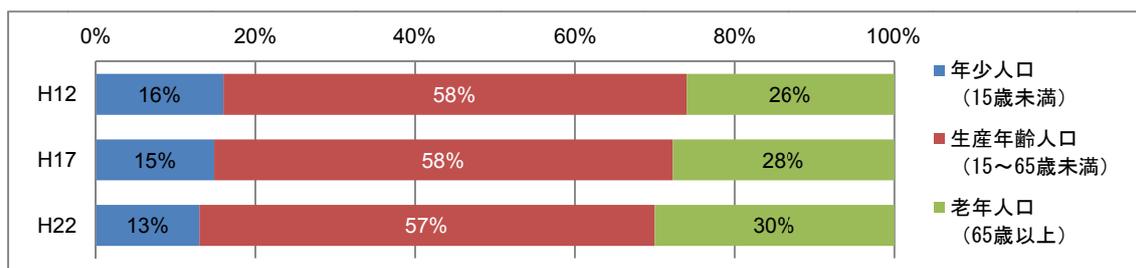
### イ. 人口構成

年少人口（15歳未満）、生産年齢人口（15～65歳未満）、老年人口（65歳以上）の年齢3区分により白石町の人口構成（平成 22 年国勢調査）をみると、年少人口は総人口の 13%、生産年齢人口は 57%、老年人口は 30%です。

平成 12 年から 22 年までの年齢 3 区分人口の実数の推移をみると、年少人口及び生産年齢人口は減少し、老年人口はやや増加しています。

#### ■年齢 3 区分別人口の推移（各年国勢調査、年齢不詳を除く）

	年少人口 (15歳未満)	生産年齢人口 (15～65歳未満)	老年人口 (65歳以上)	計
平成 12 年	4,664 人	16,432 人	7,295 人	28,393 人
平成 17 年	3,948 人	15,569 人	7,540 人	27,057 人
平成 22 年	3,456 人	14,572 人	7,577 人	25,607 人



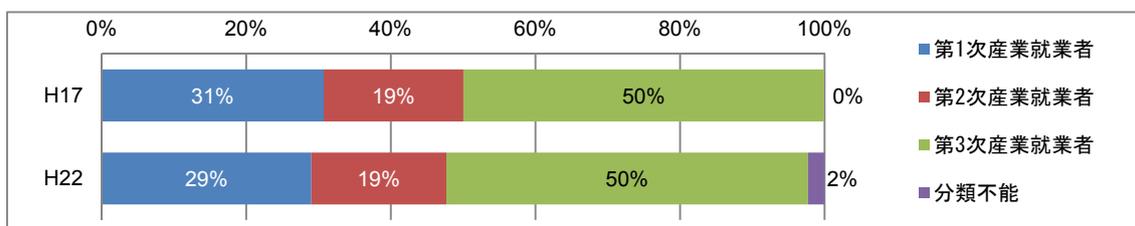
## ウ. 就業者数

平成 22 年の白石町の就業者総数（国勢調査）は、13,828 人です。就業者総数は、平成 17 年に比べて 607 人減（約 4%減）となっています。

就業者構成を産業 3 分類別で見ると、平成 22 年は第 3 次産業就業者がもっとも多く就業者総数の 50%を占めており、次いで第 1 次産業 29%、第 2 次産業 19%の順となっています。

### ■就業者数の推移（各年国勢調査）

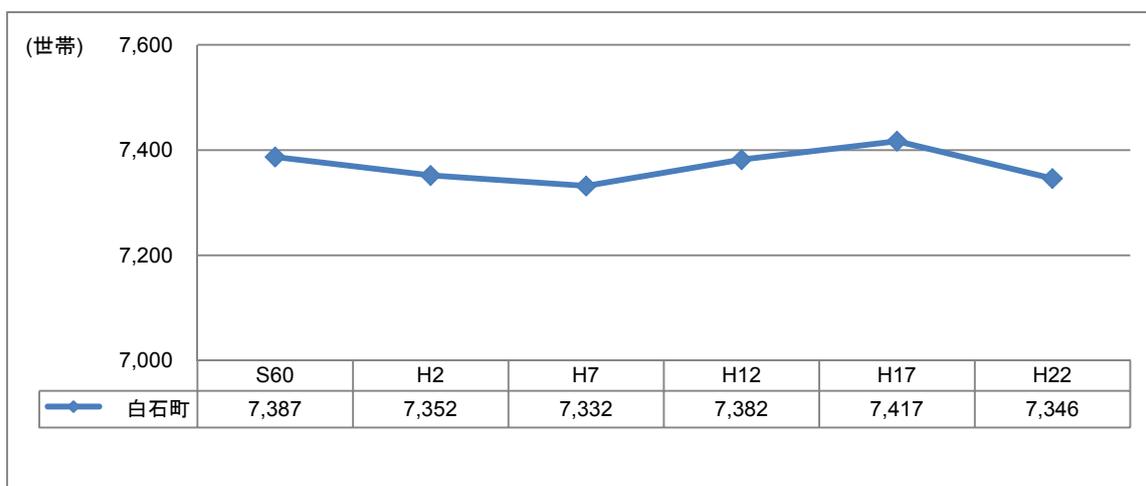
	第 1 次産業 就業者数	第 2 次産業 就業者数	第 3 次産業 就業者数	分類不能	計
平成 17 年	4,434 人	2,787 人	7,207 人	7 人	14,435 人
平成 22 年	4,010 人	2,584 人	6,917 人	317 人	13,828 人



## エ. 世帯数

平成 22 年の白石町の世帯数（国勢調査）は、7,346 世帯で、平成 12 年、17 年では増加していたものの、その後減少に転じています。

### ■世帯数の推移（各年国勢調査）



## (2) 地域資源の現状

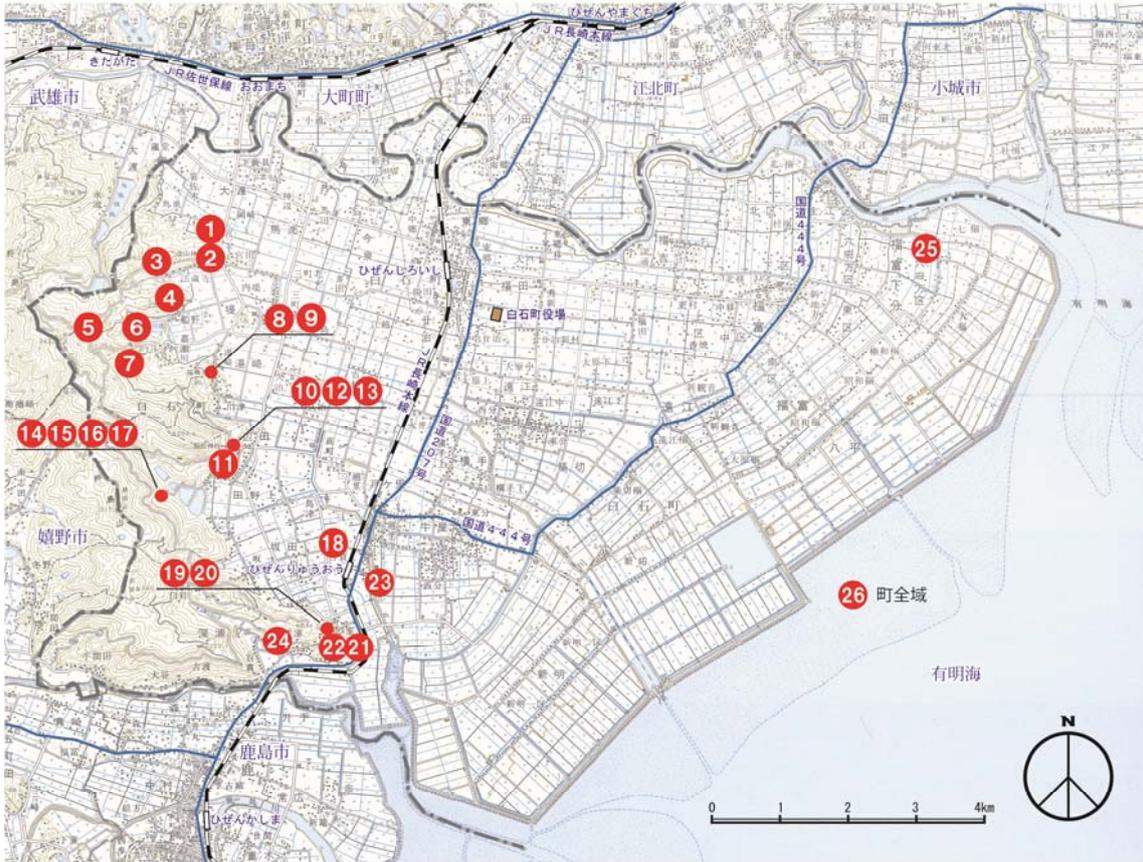
### ①文化財

観光資源として活用が見込まれる指定文化財を以下に整理しました。

#### ■文化財一覧（白石町の文化財マップー白石町教育委員会、佐賀県の文化財ー佐賀県）

種別	番号	名称	概要等
文化財	①	川崎善重夫妻の墓誌・川崎利右衛門の墓誌（法泉寺）	町重要文化財ー歴史資料
	②	妻山神社一の鳥居・二の鳥居	町重要文化財ー建造物
	③	妻山古墳群4号墳	県史跡
	④	船野山古墳群1号墳（通称、かぶと塚）	町史跡
	⑤	道祖谷古墳	県史跡
	⑥	野柄古墳群1号墳	町史跡
	⑦	水堂安福寺の宝塔（通称、重盛の塔）	町重要文化財ー建造物
	⑧	陽興寺の慶長二年銘万部塔	町重要文化財ー建造物
	⑨	陽興寺の須古鍋島家御霊屋	町史跡
	⑩	稲佐神社肥前鳥居	町重要文化財ー建造物
	⑪	吉祥天曼荼羅（玉泉坊ー県立博物館に寄託）	町重要文化財ー絵画
	⑫	稲佐神社の楠2株	県天然記念物
	⑬	稲佐神社文書11通（1巻）	町重要文化財ー古文書
	⑭	木造十一面観音菩薩坐像（福泉禅寺）	県重要文化財ー彫刻
	⑮	鉄牛円心像（福泉禅寺）	町重要文化財ー彫刻
	⑯	観音菩薩坐像（福泉禅寺）	町重要文化財ー彫刻
	⑰	幽霊図（福泉禅寺）	町重要文化財ー絵画
	⑱	鱧口（東楽寺）	県重要文化財ー工芸品
	⑲	石造六地藏	町重要文化財ー建造物
	⑳	木造神像3軀（彦嶋神社ー県立博物館に寄託）	県重要文化財ー彫刻
	㉑	海童神社の楠	県天然記念物
	㉒	龍王崎古墳群（古今の森公園）	県史跡
	㉓	龍王崎古墳群出土遺物（ふれあい郷自有館）	県重要文化財ー考古資料
	㉔	聖観音立像（深浦西分観音堂）	町重要文化財ー彫刻
	㉕	龍神社の石造「豊玉姫之尊」祠	町重要文化財ー建造物
	㉖	カササギ生息地（町全域）	国天然記念物

■観光資源分布図 1（文化財） \* 図中番号は、前頁表内の整理番号に対応します。



②妻山神社  
一の鳥居



⑫龍神社の石造  
「豊玉姫之尊」祠



⑦水堂安福寺  
の宝塔



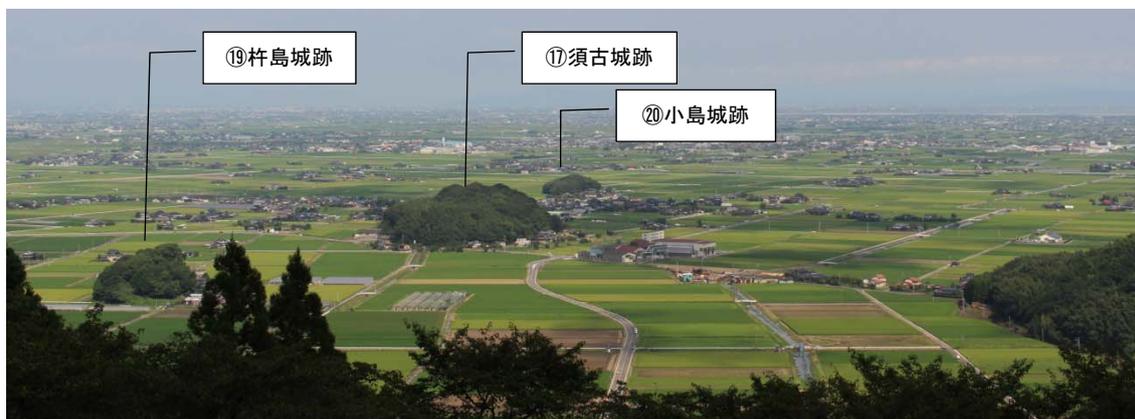
⑪海童神社  
の楠

## ②遺跡・歴史的建造物

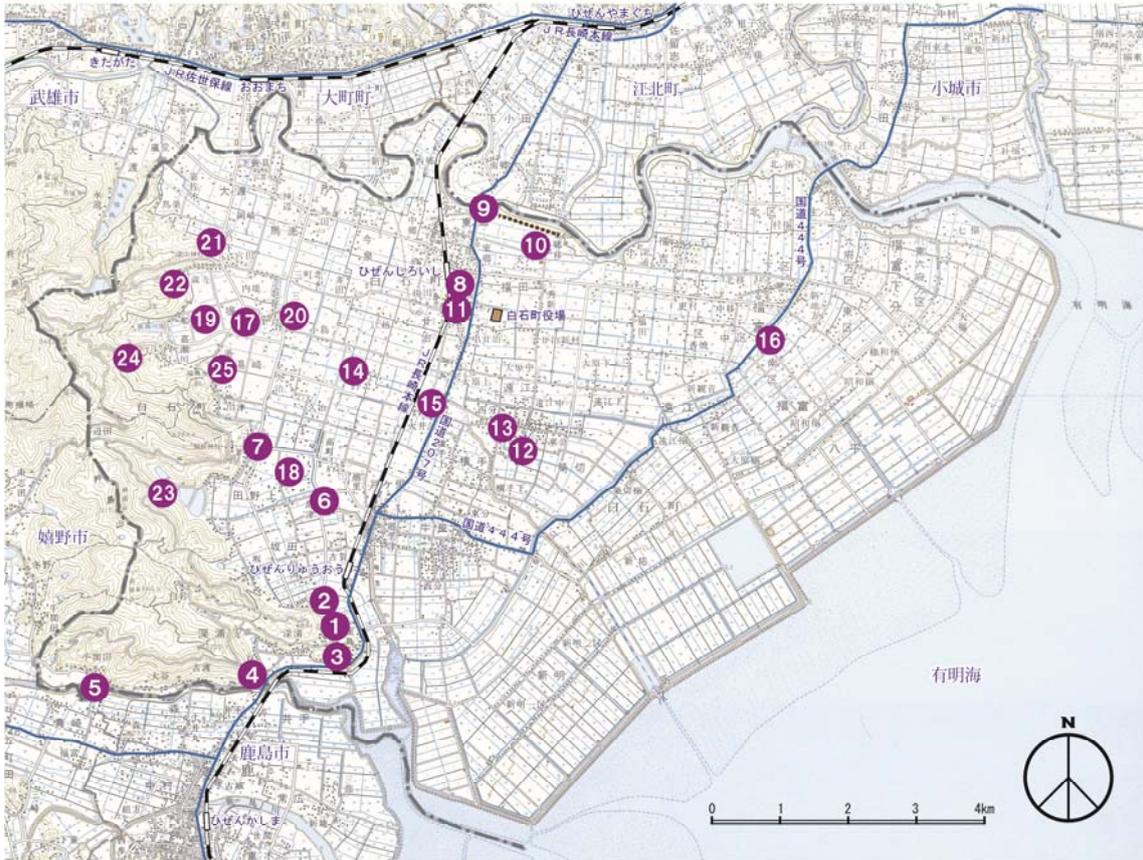
観光資源として活用が見込まれる遺跡・歴史的建造物を以下に整理しました。

### ■遺跡・歴史的建造物一覧（白石町散策マップー白石町九州新幹線活用推進協議会発行）

種別	番号	名称	概要等
遺跡・遺構・歴史的建造物	①	室島	かつての海岸線の跡が残る
	②	放生池跡	長崎街道沿いの湧水跡
	③	海童神社	海上交通の安全祈願信仰
	④	清水跡	長崎街道沿いの湧水跡
	⑤	古渡跡	塩田川の渡し場跡
	⑥	錦江のイボ地藏	地域信仰のお地藏さん
	⑦	稲佐神社一の鳥居	稲佐神社の巨大な石の鳥居
	⑧	八坂神社	佐賀藩主鍋島勝茂ゆかりの地
	⑨	六角川船渡し場跡周辺	六角川の渡し場跡
	⑩	六角川蛇行堤防跡	河川堤防の跡
	⑪	猫塚（秀林寺）	猫大明神の祠
	⑫	蟹築籠（かにつぎごもり）	弘法大師がカニを退治した場
	⑬	海蔵寺	弘法大師がマムシを退治した赤土
	⑭	吉村天満宮	嬉野茶開祖吉村新兵衛ゆかりの地
	⑮	鷹屋神社	佐賀藩主鍋島勝茂ゆかりの地
	⑯	潮塞観音	堤防決壊を塞いだ観音堂
	⑰	須古城跡	県内最大級の戦国時代の平山城
	⑱	島津城跡	南北朝時代の平山城
	⑲	杵島城跡	須古城の支城
	⑳	小島城跡	須古城の支城
	㉑	法泉寺	龍造寺隆信ゆかりの地
	㉒	妻山神社	10月19日流鏝馬の行事
	㉓	福泉禅寺	平安時代の歌人和泉式部の生誕伝説で有名
	㉔	水堂さん	病を治す霊水との言い伝えのあるお寺
	㉕	縫ノ池	平成13年に復活した湧水池



■観光資源分布図2（遺跡・歴史的建造物）\* 図中番号は、前頁表内の整理番号に対応します。



⑪猫塚-秀林寺



⑫妻山神社



⑭水堂さん



⑮縫ノ池

### ③景観資源・施設・伝統文化等

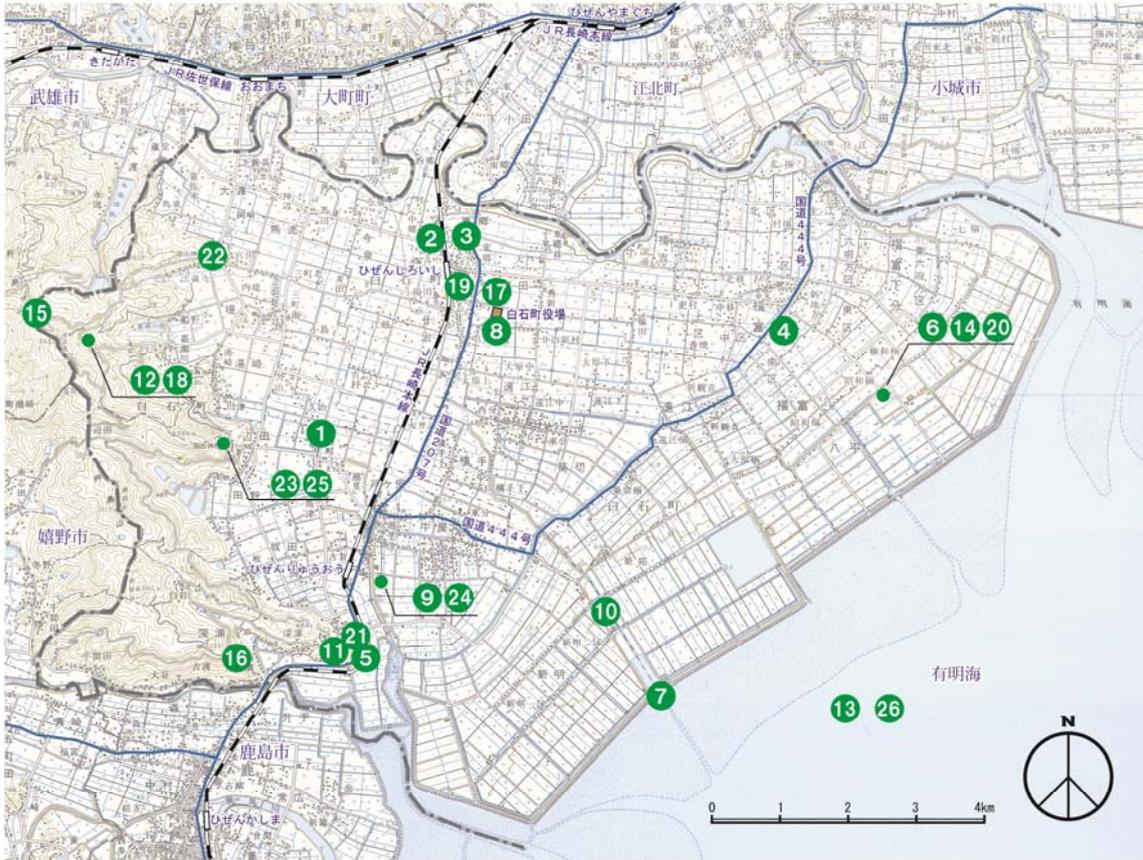
観光資源として活用が見込まれる景観資源・施設・伝統等を以下に整理しました。

#### ■景観資源・施設・伝統文化等一覧

(白石町散策マップー白石町九州新幹線活用推進協議会発行、白石町町勢要覧 2014ー白石町発行)

種別	番号	名称	概要等
街並み	①	高町宿	長崎街道の宿場町跡
	②	六角宿	長崎街道の宿場町跡
観光施設	③	しろいし特産物直売所	特産品販売所
	④	福富産物直売所 潮風の里	特産品販売所
	⑤	菜海ありあけ	特産品販売所
	⑥	ふくどみマイランド公園	有明海沿岸のレクリエーションの場
	⑦	新有明漁港、水辺公園	大きな干満差による長い棧橋、広い干潟
	⑧	白石中央公園	遊具、テニスコート等
	⑨	有明スカイパークふれあい郷	プール、トレーニング室、遊喜館（宿泊可能施設）等
	⑩	むつごろうカントリークラブ	河川敷のゴルフ場
	⑪	古今の森公園	龍王崎古墳群や大楠のある公園
	⑫	歌垣公園	日本三大歌垣の地、つつじ7万本
	⑬	遊覧観光	遊漁船による有明海遊覧
景観眺望点	⑭	展望台（ふくどみマイランド公園）	白石平野、有明海の360度のパノラマ
	⑮	肥前犬山城展望所	有明海を隔てた福岡、熊本への遠望
	⑯	桜の里展望台	600本の桜があり県の景観百選に選出
伝統行事	⑰	歌垣の郷ロードレース大会（3月）	日本陸連公認コースでのマラソン
	⑱	しろいし歌垣春まつり（4月）	町民参加のイベント
	⑲	八坂神社夏祭（7月13日）	八坂神社の夏祭りで山車が町中を練り歩く
	⑳	しろいし夏まつり（8月）	盆踊りや花火など多彩なイベント
	㉑	海童神社八朔祭（10月1日）	海童神社の秋大祭で面浮立や獅子舞の奉納
	㉒	妻山神社おくんち（10月19日）	五穀豊穡の秋祭り、流鏝馬
	㉓	稲佐神社おくんち（10月19日）	五穀豊穡の秋祭り、流鏝馬
	㉔	しろいしぺったんこ祭（11月）	秋の収穫を祝うイベント
	㉕	稲佐神社のお火たき祭（12月）	稲佐神社の新年の安全を祈る祭り
	㉖	潮干狩り（4～9月）	干潟での潮干狩り
郷土料理・特産品		須古寿し	祭や祝い事の時に食べる郷土料理
		煮じゃあ	おくんちの時に食べる郷土料理
		しろいしてんぺ	煮大豆にてんぺ菌を混ぜて発酵させた食べ物
		まえうみもん（有明海で獲れる魚介類）	むつごろう、はぜ、わらすぼ、くちぞこ等
		農産物	レンコン、タマネギ、イチゴ、米等
		海産物	佐賀海苔
		畜産物	しろいし牛

■観光資源分布図3（景観資源・施設・伝統文化等）\* 図中番号は、前頁表内の整理番号に対応します。



⑫歌垣公園



⑮肥前犬山城展望所



⑳潮干狩り

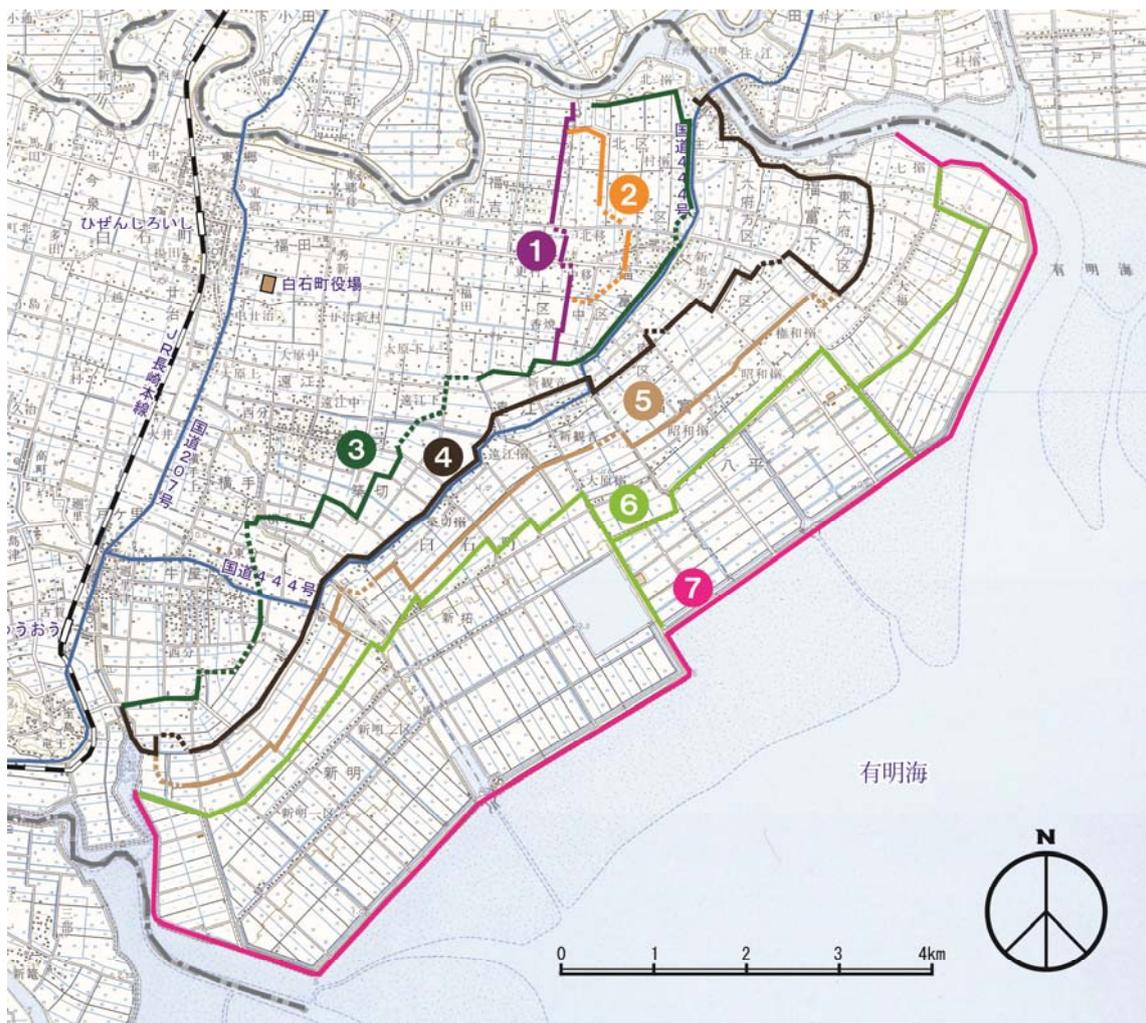
#### ④干拓堤防

観光資源として活用が見込まれる干拓堤防を以下に整理しました。

■干拓堤防一覧（白石町散策マップー白石町九州新幹線活用推進協議会発行）

番号	名称	概要等
①	鐘松土居跡	1572～1592年築造
②	櫛土居跡	1596～1643年築造
③	五千間土居跡	江戸時代初期築造の干拓堤防跡
④	六千間土居跡	江戸時代中期（1781年～）築造の干拓堤防跡
⑤	旧有明海岸堤防跡	干拓堤防跡
⑥	旧有明海岸堤防跡（2線堤）	戦後完成した干拓堤防跡
⑦	有明海岸堤防（1線堤）	現在の干拓堤防

■観光資源分布図4（干拓堤防）\* 図中番号は、上表内の整理番号に対応します。



## 1-2 観光の実態

### (1) 観光客数

佐賀県観光客動態調査による白石町の主な観光施設への観光客数は、下表のとおりです。

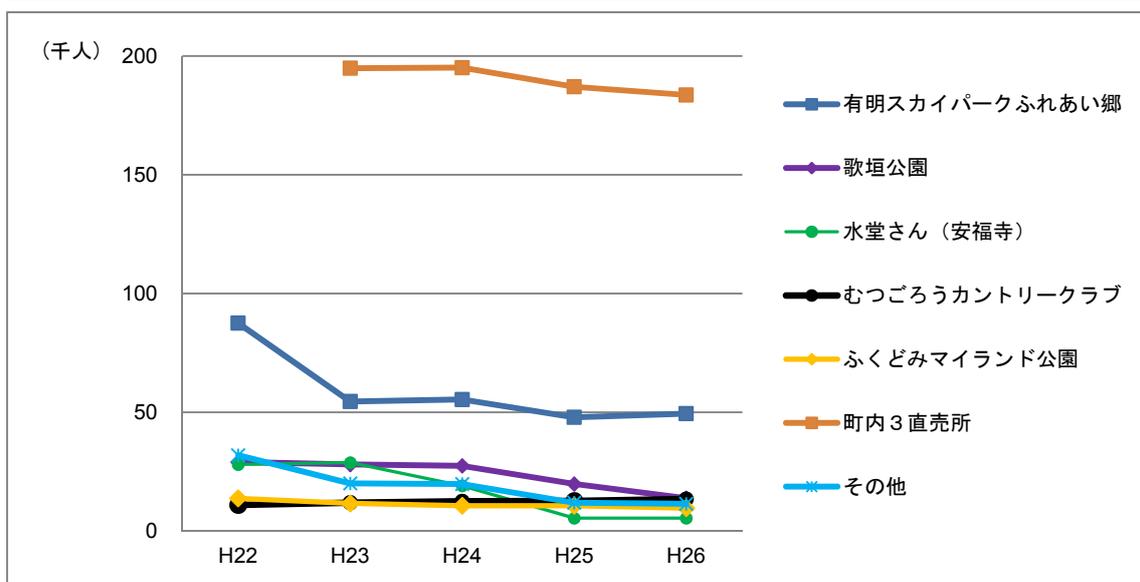
主な観光施設を訪れた観光客数は、平成 26 年度では 287 千人でした。このうち、町内に 3 箇所ある直売所を訪れた観光客がもっとも多く 184 千人で、観光客総数の 6 割以上を占めています。町内にはホテル、旅館等の観光客用宿泊施設がないことから、観光客のほとんどが日帰り客です。

観光客総数の推移をみると、町内 3 直売所のデータを加えた平成 23 年度以降観光客数は減少しています。観光地別では、むつごろうカントリークラブは増加しているものの、それ以外のすべての観光地は減少傾向にあります。

■観光客数の推移（各年度佐賀県観光客動態調査）

単位：千人

観光地	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度		
					日帰り客	宿泊客	計
有明スカイパークふれあい郷	87.5	54.5	55.4	47.8	48.9	0.5	49.4
歌垣公園	29.0	28.0	27.4	19.8	13.8	-	13.8
水堂さん（安福寺）	28.0	28.8	19.0	5.4	5.4	-	5.4
むつごろうカントリークラブ	10.9	11.9	12.5	12.6	13.4	-	13.4
ふくどみマイランド公園	13.7	11.6	10.6	10.6	9.6	-	9.6
町内 3 直売所	-	194.9	195.1	187.1	183.6	-	183.6
その他	31.9	20.0	19.7	11.9	11.4	-	11.4
計	201.0	349.7	339.7	295.2	286.2	0.5	286.7



平成 25 年度の佐賀県観光客動態調査により観光客の利用した交通手段をみると、市内の観光客のうち「自家用車」が 98%を占めています。

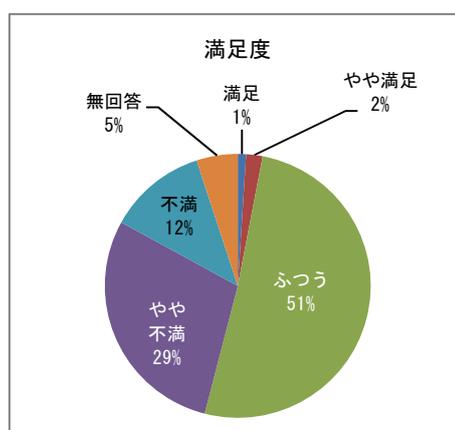
■観光客交通手段（平成 25 年度佐賀県観光客動態調査）

種別	観光客数	割合
鉄 道	3.0 千人	1.1%
バ ス	1.0 千人	0.3%
自家用車	289.2 千人	98.0%
タクシー	2.0 千人	0.6%
計	295.2 千人	100.0%

以上の観光施設以外にも、寺社巡り、祭りやイベント参加、海浜・海上でのレクリエーションなど、町外からの観光客が多く訪れていますが、実態の把握が行われていません。

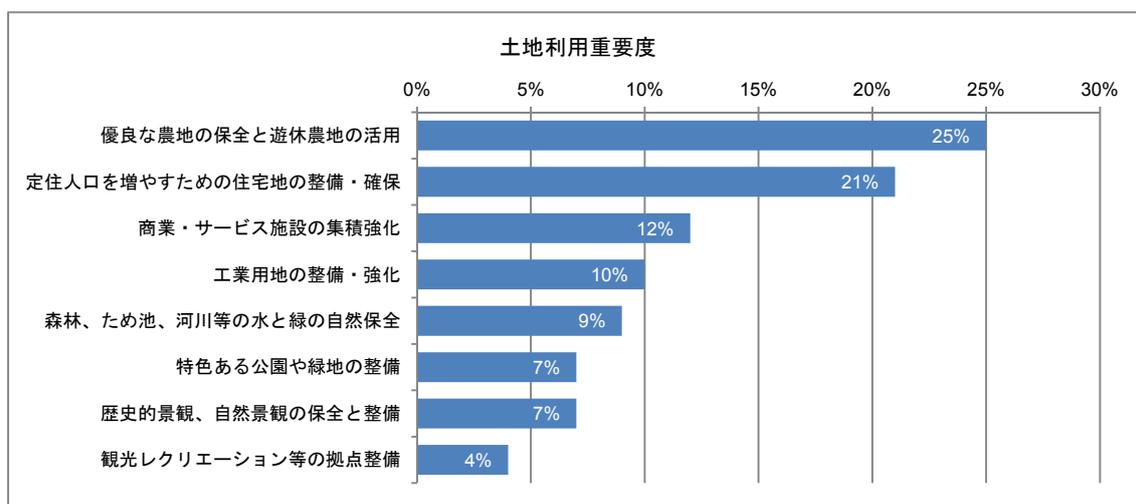
### (2) 観光振興施策の町民満足度

白石町民の本町の観光振興に関する施策の満足度を「平成 26 年度第 2 次白石町総合計画をつくるにあたっての町民アンケート調査」からみると、「満足」は 1%、「やや満足」は 2%で、一方「不満」12%、「やや不満」は 29%となっており、満足度はかなり低く、不満度は高い評価です。



### (3) 土地利用のあり方

白石町民の本町の土地利用のあり方について「平成 26 年度第 2 次白石町総合計画をつくるにあたっての町民アンケート調査」からみると、重要度が高いと選択されたものの中で「観光レクリエーション等の拠点整備」はもっとも回答が少ない項目ですが、観光資源として捉えられる公園・緑地や景観に関する項目（「特色ある公園や緑地の整備」「歴史的景観、自然景観の保全と整備」）の回答率を合わせると 18%になります。



## 1-3 観光施策の状況

---

町内で実施している観光関連イベント及び関連施策（過去3年間）を整理すると、次のとおりです。

### <観光関連イベントの実施>

#### ①しろいし歌垣春まつり

期 日 …… 4月中旬  
会 場 …… 歌垣公園一带  
主 旨 …… 日本三大歌垣の地としての歴史的価値を有する歌垣公園は、ツツジが有名で花見客が多く訪れます。春まつりを当地で開催することで、歌垣公園を広くPRするとともに、町民にも公園の魅力の紹介と保存の大切さの理解をもとめます。

#### ②しろいし夏まつり

期 日 …… 8月16日  
会 場 …… ふくどみマイランド公園  
主 旨 …… 盆踊りなどを通して町民の融和を図り、夏休みの思い出に残る花火大会を開催し、郷土愛を持つ健全な子供の育成を図ります。

#### ③しろいしぺったんこ祭

期 日 …… 11月中旬  
会 場 …… 有明スカイパークふれあい郷  
主 旨 …… 実り多い白石町の農・海産物の収穫を祝い、白石町の産業振興のためのPR等を行います。合わせて町民の融和を図ります。

### <協賛>

○佐賀インターナショナルバルーンフェスタ

#### ＜パンフレット配布等のPR活動＞

- 有田陶器市（毎年5月）
- 町イチ！村イチ！（2014年1月、2015年9月/東京）
- 東京都庁全国観光PRブースでのイベント（2015年3月、2016年3月）
- 視察団来訪（担当課にて配布）
- 武雄杵島地区内開催の県全域イベント（PTA総会等）
- 町内における各団体イベント等において配布依頼

#### ＜祭り関連のPR＞

- 春まつり・・・・・・サガテレビ、NBCラジオ、ケーブルテレビ、佐賀新聞でのPR
- 夏まつり・・・・・・ケーブルテレビでのPR
- ぺったんこ祭・・・・NHK（九州・佐賀）、NHKラジオでのPR

## 第2章 観光振興の課題

### 2-1 上位計画・関連計画

#### (1) 上位計画

##### 第2次白石町総合計画（白石町）

###### 【策定年度】

平成27年度～平成32年度

###### 【推計人口】

平成32年：22,836人

###### 【基本理念】

人と大地が うるおい 輝く 豊穡のまち

###### 【観光の振興】

###### <めざすべき方向>

- 自然や有明海などの特性を活かした観光の推進
- 農林水産業との連携
- 地場産品などを活用した観光産業の定着

###### <主な取り組み>

- 有明海、白石平野、杵島山などの豊かな自然や歴史・文化などの観光資源のネットワーク化
- 特産物を活かした観光ルートの開発
- 他の市町村との連携による観光ルートの開発
- 地域の資源を活かしたイベントの開催
- 町内外への積極的なPR活動による交流人口拡大

#### (2) 関連計画

##### ①白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略（白石町）

###### 【策定年度】

平成27年度～平成31年度

###### 【観光振興にかかる基本目標】

- 来てよか、見てよか、食べてよか、住んでよか、しろいし！  
～白石への新しい人の流れをつくる～

## 【重要業績評価指標（KPI）と具体的施策】

### <白石町の魅力発信>

#### ○重要業績評価指標（KPI）

対象項目	重要業績評価指標（KPI）
道の駅来店者数	30万人/年間
町ホームページアクセス件数	平成26年 197,700件/年 ↓ 平成31年 237,200件/年

#### ○具体的施策

- ・道の駅整備事業
- ・がばいよかところ発信事業

### <地域観光資源の再発見>

#### ○重要業績評価指標（KPI）

対象項目	重要業績評価指標（KPI）
観光入込客数	平成26年 286,600人/年 ↓ 平成31年 315,200人/年
観光ルート数	5年間で3本

#### ○具体的施策

- ・広域的なグリーンツーリズム
- ・杵島山系歴史散策コースの設定
- ・交通手段の拡充（観光客の利便性の向上）
- ・地域資源活用観光振興事業での計画事業の実施

## ②佐賀県観光戦略（佐賀県）

### 【使命（ミッション）】

県を挙げて「観光」に取り組み、地域の魅力を高めることにより、地域経済を発展させるとともに、暮らしの豊かさやふるさとへの誇りを実感できる社会を目指す。

### 【観光戦略の位置付け】

2020年を目途として、今後3年間で新たに実施すべき取り組みを盛り込んだビジョン

### 【目指すべき姿】

- わざわざ行ってみたくなる県
- 日本で一番、だれでも個人旅行がしやすい県

### 【ターゲット】（国内）

- 市場規模の大きい首都圏・関西地方、福岡都市圏のシニア女性
- 「食」と、温泉や自然、焼き物といった上質な観光資源を結び付けた情報発信

### ③有明海沿岸道路（国土交通省、佐賀県）

2車線以上の自動車専用道路または、それと同等の機能を持つ地域高規格道路として有明海沿岸道路が整備中です。福岡県の三池港、有明佐賀空港などの広域交通拠点や佐賀市、小城市、鹿島市など有明海沿岸の都市を結び、地域産業の活性化等、有明海沿岸地域の更なる発展に寄与する道路です。

現在、佐賀市の嘉瀬南インターチェンジから小城市の芦刈インターチェンジまで供用されており、平成28年3月には芦刈北インターチェンジから芦刈南インターチェンジ間が開通します。その後、白石町まで延伸され平成31年3月には福富インターチェンジまで供用開始の予定です。



## 2-2 課題

---

観光資源の現状、観光関係団体へのヒアリング調査（資料編参照）及び上位・関連計画等から、白石町の観光振興の課題を次のように設定します。

### <観光実態について>

- 白石町への入込観光客数は少なく、さらにその推移はやや減少傾向にあるため、まちの活性化につながる観光客数を増加させることが課題です。
- 観光客は、そのほとんどが日帰りの自家用車利用であることから、多様な観光形態、交通手段への対応が課題です。
- 観光者数、観光関連事業の実態・データが乏しく、これらの把握を行うことが課題です。

### <観光資源について>

- 観光の目玉に乏しく観光の魅力づくりや観光ターゲットをどのように設定するかが課題です。
- 観光資源という観点から、資源の保全、改善や案内、宣伝・広報が積極的にすすめられていないことから、いかに観光資源化するかが課題です。
- 白石町の特徴、イメージを発信できる観光の理念や、観光資源をネットワークする共通テーマの設定が必要です。

### <まちづくりの観点から>

- 観光振興施策についての町民の満足度が低く、この満足度を高める施策の実施が課題です。
- 土地利用についての町民意識では、「観光レクリエーション拠点整備」「自然保全」「景観の保全整備」の各項目とも重要性の評価は低いことから、観光関連施策は個別対応での実施ではなく、全体的・一体的に取り組むことが課題です。
- 有明海沿岸道路の延伸及び町内でのインターチェンジの整備による自動車交通アクセスの利便性を活かすことが課題です。
- 観光事業者は農林漁業、その他の地元産業との協働を図り、また観光関連事業者相互の連携強化による活性化が課題です。
- 町民や町内観光関連事業者の観光資源に関する知識や意識の啓発を図ることが課題です。

## 第3章 観光振興基本計画

### 3-1 コンセプト・基本方針

観光資源の課題を受け、白石町の観光振興を図っていく上での基本的な方向性を示すコンセプト及び将来の基本方針を次のとおりとします。

#### 観光振興のコンセプト

魅力ある自然と暮らしが  
体験・実感できる観光まちおこし

白石町の観光振興は、「観光」を単体で取り組むのではなく、「観光」を視野に入れた町民が主体となった住み心地の良いまちづくり、すなわち「観光まちおこし」をすすめていくものとし、それがひいては来訪者にとっても魅力豊かで再び訪れたい町になることを目指していくことを観光振興のコンセプトとします。

#### 観光振興の基本方針

##### 基本方針1

地域の自慢の宝物をみんなで共有し、観光的価値を高めます。

住んでいる身近な地域には、歴史的・文化的に重要なものがたくさんあります。また、まだ発見されていない、あるいは由緒不明や学術的に解明されていないものもあります。これらは、一度失うと元に戻すことができないため、大切に扱い、宝物としてみんなで共有しなければなりません。

顕在化していないものを含め、これらを町の宝物として捉え、町民自らが宝物について学習し、理解して大切にすることで、他地域、他市町から訪れた人々へ感動、共感、興味を与え、観光資源の質を高めていきます。また、このことによって白石町や地域についての自慢や誇りが一層強まります。

このとき、個々の優れた宝物を個別なものとして扱うのではなく、共通するテーマによる関連付けや、観光ルート設定などにより総体・一体的に取り扱うことで、魅力の向上や関心度を高め、観光対象者の拡大を図るものとします。

## 基本方針2

### 住み心地の良さの基盤となる自然環境、景観を守り・育てます。

白石町には、広域的に集客力の強い観光資源・施設が単体でたくさんあるわけではありません。白石町ならではの魅力ある観光を提供するためには、観光資源・施設と、その背景（バッファゾーン）となる自然的な環境や風景が一体となって、住み心地の良さを醸し出していることが大きな強みとなり、広域を対象とした観光へのアピール力となります。

そこで、白石町の個性となっている杵島山系から有明海に連続してつながる自然環境や自然景観、集落景観が創り出す穏やかで広々した空間を後世に引き継ぐため、町民自身が自然環境・景観を守り、育てていきます。

## 基本方針3

### 町民が観光ガイドとなり町の良さをアピールし、交流します。

住み心地の良さを町民自身が実感するためには、地域の宝物について、来訪者に説明できるくらいに、よく知っていなければなりません。観光資源・施設について「知る」、「理解する」、「紹介する・説明する」ことによって、町民自身の愛着が強まり、関心が高まり、同時に町民を通じて来訪者は白石町の良さを体感することができます。

すなわち、町民の住み良さの満足度が満たされ、胸を張って町の魅力を伝えることができるように努め、自発的に来訪者への声掛けやおもてなしができるような交流をすすめていきます。

## 3-2 基本施策

観光振興のコンセプト及び基本方針を達成するための基本施策及び施策を次のとおりとします。

### 基本方針1

地域の自慢の宝物をみんなで共有し、観光的価値を高めます。

#### 基本施策1-1 観光資源・施設の周知・再認識

施策	施策内容
○観光資源・施設の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光資源・施設の位置、特徴等を説明したパンフレットの発行を行い、観光客のニーズに応じた適切なパンフレットが手渡るよう努めます。</li> <li>・現地における案内説明板を整備していきます。（位置、デザイン、管理のしやすさ、耐久性等に考慮）</li> </ul>
○多様なツールを使った情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町が定期的に発行している「広報白石」及び白石町ホームページに最新の観光情報を掲載し広く発信します。</li> <li>・<u>ポータルサイト</u>（*）の構築（スマートフォン対応）や、マスメディアに対する戦略的、継続的な情報提供のあり方を検討します。また、外国人旅行者への情報提供等に関する対応についても検討します。</li> </ul> <p style="text-align: center;">*インターネットのトップのページに観光情報一覧を見ることができ、必要な情報への玄関口となる構成のWebサイトのこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役場内の情報発信担当窓口を一元化し、情報発信戦略を検討します。</li> </ul>
○観光まちづくり講座の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然、歴史、文化、食文化など、観光に関する町民対象の町民講座を開催し、町民の観光資源・施設の知識や観光まちづくりの意識を高めます。</li> <li>・役場の職員研修で、観光に関する研修の開催を検討します。</li> </ul>
○学校教育での観光まちづくりの学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、中学校の協力を得て、学校教育の中で、町の観光に関する学習を推進します。</li> </ul>

## 基本施策 1-2 観光資源の発掘

施策	施策内容
○地域の宝物発見イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に埋もれている観光資源を発見・発掘するまち歩きイベント等の開催を検討します。</li> <li>・地域の宝物を顕在化するとともに、大切にできる意識を高め、保全・育成活動のきっかけを作ります。</li> </ul>
○名産品の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特産の農産物、水産物等の観光面でのブランド化を促進します。</li> <li>・名物食材としての活用方法の検討を支援します。</li> </ul>
○体験型観光の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業、漁業の体験や自然、食文化、工芸等とのふれあいを通じた交流の推進について検討します。</li> <li>・地域特性を活かした民泊や体験学習等について検討します。</li> </ul>
○「道の駅」活用の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有明海沿岸道路の開通・福富インターチェンジの整備（平成31年3月予定）に合わせて建設する「道の駅」を観光振興の起爆剤として活用することを検討します。（基本施策1-3「快適なネットワークの形成」との関連を考慮）</li> </ul>

### ■地域の宝物発見イベントの例

【目的】 町民が町内にある観光資源について深い知識を得て、それらを後世に引き継ぐことの大切さを理解し、保全・育成活動につなげることを目的とします。

【目標】 目標は、以下のとおりです。

- 町の歴史や伝説・言い伝えを知る。
- 町内のどこに観光資源・施設があるかを知り、案内することができる。
- 町内の観光資源・施設の概要を知り、紹介・説明することができる。

【実施案】 イベントは、次の3段階に分けて実施します。

初級クラス (初心者)	中級クラス (初級クラス修了者)	上級クラス (中級クラス修了者)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○町の概要を聞く</li> <li>○町の歴史や伝説、言い伝えを聞く</li> <li>○観光資源・施設の名称、位置を学ぶ</li> <li>○観光資源・施設の概要を学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主要な観光資源・施設を訪れて説明を聞く</li> <li>○身近な地域を歩き回って、良いところ、悪いところを発見し、保全策、問題解決策等を検討（自分自身の関わりを考えます。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光ルート案内の実習</li> <li>○体験学習、民泊等に関する実技講習</li> <li>○白石観光ガイド（仮称）検定試験</li> </ul>
学校教育との連携を検討	地域ごとに開催	検定試験に合格するとボランティアガイドとして登録

\*クラス修了ごとに認定書を発行し、意識付け及び次のクラスへの意欲を高めます。

### 基本施策 1-3 快適なネットワークの形成

施策	施策内容
○観光ルートの設定 ＊アクションプログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点的な観光資源・施設を線をつなぎ、面的に広げていくような観光者のニーズに対応する多様な物語性（ストーリー性）を持った「観光テーマ」に基づく回遊観光ルートを設定します。</li> </ul>
○観光重点スポットの設定 ＊アクションプログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町を代表する観光重点スポットとして、山の「歌垣公園」、平野部の「縫ノ池」、海の「新有明漁港・水辺公園」の3か所を設定します。</li> <li>・回遊ルートには、少なくとも1か所の観光重点スポットを組み込むものとします。</li> </ul>
○観光ネットワークの拠点の整備 ＊アクションプログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光ルートの発着地点、観光情報の発信基地となる観光ネットワーク拠点（観光案内所等）の整備を検討します。</li> <li>・観光ネットワーク拠点の候補としては、「JR駅」や構想中の「道の駅」を想定します。</li> </ul>
○観光アクセスの確保 ＊アクションプログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光資源・施設を円滑にわかりやすく巡るために、道路、観光施設、人の多く集まる場所等に誘導案内標識を順次設置して、観光アクセスを確保します。</li> <li>・誘導案内標識の設置位置、デザイン、内容について調査・検討を行います。</li> <li>・町内の交通インフラ（駐車場、レンタサイクル等）の整備や町内を周回する「いこカー」の活用を検討します。</li> <li>・タクシーによる周遊観光の実現性について、観光事業者（タクシー協会等）と協同して検討します。</li> </ul>
○スポーツ・レクリエーション施設等の維持管理等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌垣の郷ロードレース大会などのスポーツ行事によるスポーツ・レクリエーション交流人口を呼び込むため、道路、スポーツ施設等の適正な維持管理を行います。</li> <li>・あらゆるメディアを活用して（仮称）白石町パークゴルフ場（平成28年度供用開始予定）のオープン周知を行い、利用促進を図ります。</li> <li>・新規の広域を活動範囲とするスポーツ行事等の開催については、隣接市町との機能分担や連携を図ります。</li> </ul>

■3か所の観光資源・施設を観光重点スポットに設定

○山の観光重点スポットー**歌垣公園**



日本三大歌垣の一つに数えられ、奈良時代の「肥前国風土記」の逸文に記されています。一帯は公園として整備され、さくらとツツジのシーズンにはたくさんの花見客で賑わいます。

公園の西側には肥前犬山城展望所があり、白石平野や有明海はもちろん、天気の良い日は、熊本県や福岡県まで見渡すことができます。

○平野部の観光重点スポットー**縫ノ池**（佐賀県遺産認定）



40年ぶりに湧き水が出て昔の姿を取り戻し、池には透き通ったきれいな水が溜まり、フナやハヤが泳ぎ、地域のシンボルとして親しまれ、環境美化活動を行っています。また、町内外から湧水を汲みに多くの人が訪れています。

○海の観光重点スポットー**新有明漁港・水辺公園**（シャワー室等）



本町東部の有明海は潮の干満の差が7m余りにも及ぶため、干潮時には遠浅で海底が泥土の海岸は一面の干潟となります。

干潟には、珍しいムツゴロウやワラスボを見ることができ、4～9月はアサリ・赤貝などの潮干狩りが楽しめます。



## 基本方針2

住み心地の良さの基盤となる自然環境、景観を守り・育てます。

### 基本施策2-1 自然環境の保全・景観形成

施策	施策内容
○自然環境の良さの維持	・自然的土地利用の地域での大規模な造成や土地利用転換は、極力抑止するものとし、本町の空間構成として重要な山林、樹林地、農地、河川等の自然環境を保全します。（土地利用に関する各種法規制の運用）
○景観形成への配慮	・建築物、工作物の建設や改修等にあたっては、山から海につながるパノラマ景観を阻害しない規模、色彩、デザイン等について工夫する配慮を促します。 ・町全域及び海域（有明海）を対象とした環境基本計画に沿った施策に協力します。

### 基本施策2-2 花いっぱいのまちづくりの推進

施策	施策内容
○一年中花の咲くまちづくり	・歌垣公園や桜の里などの花の名所以外でも、道路、公園、河川敷、庭、農地などで一年中花が咲いて季節感を味わうことができるよう全町域での花いっぱいのまちづくりを推進します。
○町民との協働による花の管理の推進	・町民の町への誇りや一体感を強め、観光まちづくりへの参加意識を高めるため、町民と協働による花の苗植え、水やりなどの管理を推進します。

**基本方針3**

町民が観光ガイドとなり町の良さをアピールし、交流します。

**基本施策3-1 観光の担い手の育成**

施策	施策内容
○観光ボランティアガイドの組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民による観光ボランティアガイド組織の設立を支援します。</li> <li>・観光ボランティアガイド組織の設立後は、観光ボランティアガイド利用促進のための広報活動や、観光ボランティアガイド募集などの運営に協力します。</li> </ul>
○観光関連の人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光関連事業者、観光ボランティアガイド、地域の観光資源を維持・管理している個人・ボランティア団体の会員、体験交流プログラム指導者、民泊提供者、役場の担当職員等の観光まちづくり意識や観光知識の向上に資する研修を推進します。</li> <li>・観光振興のリーダーとなる若者の人材育成、登用を積極的にすすめます。</li> </ul>

**基本施策3-2 計画の推進**

施策	施策内容
○観光まちづくり推進体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民、観光関連事業者、町が一体となって観光まちづくりを推進するための体制づくりを確立します。</li> <li>・中長期的な観光まちづくりのビジョンについての意見交換や、ビジョン案の提案に協力します。</li> </ul>
○観光関連事業者の交流活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の観光関連事業者による情報交換、イベントの企画・実施、研修などの交流活動を推進します。</li> </ul>
○観光情報データの収集・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光施設への入場者数、売上額、観光客の観光形態、施設等の状況等を把握するため観光動態調査を実施し、今後の観光まちづくりの基礎資料とすることを検討します。</li> </ul>

### 3-3 アクションプログラム

---

観光施策をすすめるにあたって、重要かつ先導的に取り組む必要性が高い回遊観光ルートに関する施策について、アクションプログラムとして実施します。

#### (1) 観光テーマ

観光資源・施設を単純につなげる回遊観光ルート設定でなく、本町を訪れる観光者のニーズに合わせた物語性（ストーリー性）のある観光テーマを設定し、それに基づき回遊観光ルートを設定します。

そこで、まず次の3つの観光テーマを設定しました。

#### 【観光テーマ1】自然に親しみ、山歩き愛好家のための観光

杵島山系  
エコツーリズム

杵島山系の自然保護に配慮しつつ、自然と触れ合い、自然に関する知識や理解を深めるトレッキングが楽しめます。

#### 【観光テーマ2】観光スポットをめぐり、見て、食べて、買い物する観光

しろいし  
周遊観光

白石町特有の歴史的・文化的な資源、施設や、眺望の良い場所をつなぐことで、町全体の観光の魅力を味わえます。

#### 【観光テーマ3】白石ならではの生活体験をする観光

農漁村体験  
ツーリズム

自然体験学習や交流を通じて、白石の農村・漁村ならではの多様な生活体験ができます。

## (2) 回遊観光ルート

観光テーマごとに、回遊観光ルートを設定しました。

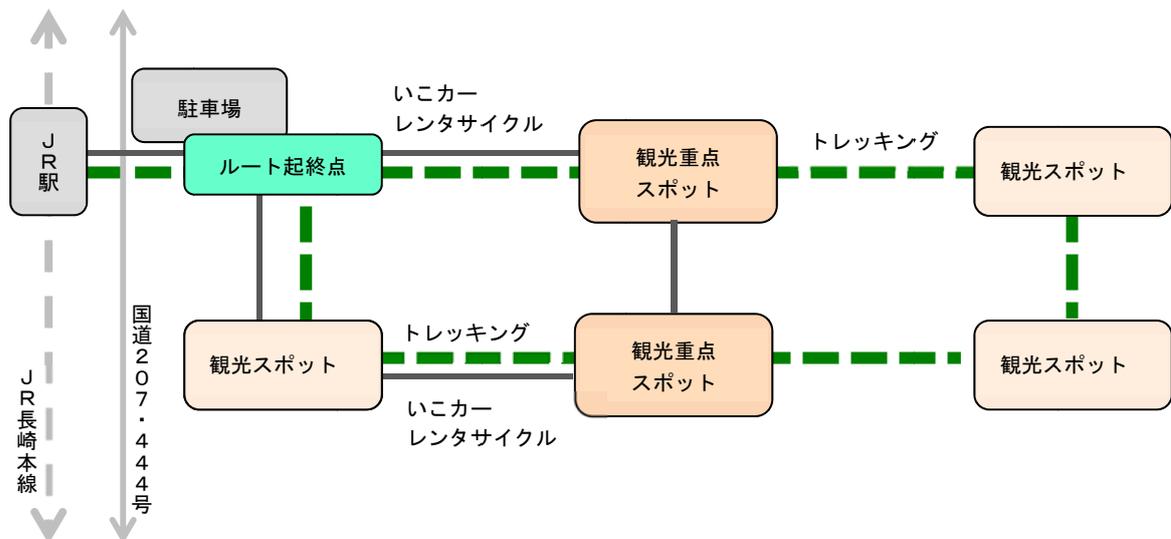
### 【観光テーマ1】自然に親しみ、山歩き愛好家のための観光

#### 杵島山系エコツーリズム

#### 犬山岳・縫ノ池トレッキングコース案

観光活動	観光対象者	移動	観光形態	観光資源・施設
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然鑑賞</li> <li>・環境学習</li> <li>・健康増進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人</li> <li>・家族</li> <li>・グループ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徒歩</li> <li>・いこカー</li> <li>・レンタサイクル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレッキング (山歩き)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○杵島山系の縦走</li> <li>○パノラマ景観の眺望</li> <li>○湧水</li> <li>○花見（ツツジ、サクラ等）</li> </ul>
整備内容等				
<ul style="list-style-type: none"> <li>○出発地点におけるルートの案内・説明板整備</li> <li>○ルート上における方向標識、舗装、柵等安全施設の整備</li> <li>○便所、休憩所等利便施設及び展望所の整備</li> </ul>				

■トレッキングコースの概念図



# 犬山岳・縫ノ池トツキバダコース案



\* 観光コースのルートはイメージを示しているもので、詳細ルートの検討により確定します。

【観光テーマ2】観光スポットをめぐり、見て、食べて、買い物する観光

しろいし周遊観光

ドライブ周遊ルート案（眺望・買物・レクリエーション）  
ドライブ周遊ルート案（文化財・歴史的建造物）

観光活動	観光対象者	移動	観光形態	観光資源・施設
<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学</li> <li>・鑑賞</li> <li>・趣味</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人</li> <li>・家族</li> <li>・グループ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徒歩</li> <li>・自家用車</li> <li>・バス、タクシー</li> <li>・レンタサイクル</li> <li>・いこカー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立寄り観光</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史・文化的資源の鑑賞</li> <li>○伝統的行事の見学</li> <li>○特産品の買物</li> </ul>

整備内容等

- 幹線道路における主要な観光資源・施設までの誘導標識整備
- 観光案内所（ビジターセンター、レンタサイクル基地）の協働整備・運営
- 主要な観光資源・施設の案内施設、駐車場、便所、休憩所等の整備
- いこカー、タクシーの観光客利用の検討

<観光テーマ別観光資源・施設の整理>

神社・仏閣

法泉寺、妻山神社、水堂安福寺、陽興寺、稲佐神社、福泉禅寺、東楽寺、海童神社、龍神社、八坂神社、深浦西分観音堂、秀林寺、海蔵寺、吉村天満宮、鷹屋神社、潮塞観音

古墳・城跡

船野山古墳群 1号墳、道祖谷古墳、野柄古墳群 1号墳、龍王崎古墳群、須古城跡、島津城跡、杵島城跡、小島城跡

動植物

カササギ生息地、稲佐神社の楠、歌垣公園、桜の里

特産品買い物

しろいし特産物直売所、福富産物直売所潮風の里、菜海ありあけ

展望所

ふくどみマイランド公園、肥前犬山城展望所、桜の里展望台

建造物・その他

室島の海岸線跡、放生池跡、清水跡、古渡跡、錦江のイボ地蔵、六角川船渡し場跡、六角川蛇行堤防跡、蟹築籠、縫ノ池、ふくどみマイランド公園、白石中央公園、有明スカイパークふれあい郷、むつごろうカントリークラブ、(仮称)白石町パークゴルフ場

祭り・イベント

歌垣の郷ロードレース大会、しろいし歌垣春まつり、八坂神社夏祭、しろいし夏まつり、海童神社八朔祭、妻山神社おくんち、稲佐神社おくんち、しろいしぺったんこ祭、稲佐神社のお火たき祭、潮干狩り

# ドライブ周遊ルート案 (眺望・買物・レジャー・エッセイ)



\* 観光コースのルートはイメージを示しているもので、詳細ルートの検討により確定します。

# ドライブ周遊ルート案（文化財・歴史的建造物等）



\*観光コースのルートはイメージを示しているもので、詳細ルートの検討により確定します。

【観光テーマ3】白石ならではの生活体験をする観光

農漁村体験ツーリズム

小中学校の校外学習、交流プログラム案  
いなか暮らし体験案

観光活動	観光対象者	移動	観光形態	観光資源・施設
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験学習</li> <li>・校外学習</li> <li>・交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族</li> <li>・グループ</li> <li>・団体</li> <li>・児童、生徒、学生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自家用車</li> <li>・バス</li> <li>・レンタサイクル</li> <li>・いこカー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業・漁業体験</li> <li>・民泊</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○レンコン、イチゴ、タマネギ等の作物収穫作業</li> <li>○海苔の養殖、漁獲作業</li> <li>○特産品づくり(須古寿し等)</li> <li>○潮干狩り、有明海遊覧</li> <li>○干潟観察</li> <li>○田舎暮らし</li> </ul>
整備内容等				
<ul style="list-style-type: none"> <li>○幹線道路での観光施設・観光活動地までの誘導標識整備</li> <li>○学習、交流プログラムの作成支援</li> <li>○学習、交流受け入れ態勢づくりの支援</li> </ul>				

<小中学生の校外学習、交流プログラムの例>

観光活動	1日目	2日目	3日目
午前		<ul style="list-style-type: none"> <li>・起床、洗面、清掃</li> <li>・朝食</li> <li>・町内の探検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起床、洗面、清掃</li> <li>・朝食</li> <li>・農・漁業の収穫体験</li> </ul>
午後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合</li> <li>・オリエンテーション</li> <li>・白石町についての学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼食</li> <li>・農・漁業の収穫体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼食</li> <li>・お別れ</li> </ul>
夜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夕食づくり</li> <li>・夕食</li> <li>・交流(伝承遊び、伝説・言い伝え等)</li> <li>・入浴</li> <li>・就寝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夕食づくり</li> <li>・夕食</li> <li>・特産品、加工品づくり</li> <li>・入浴</li> <li>・就寝</li> </ul>	

### (3) 回遊観光ルート整備スケジュール

回遊観光ルートの整備に関するスケジュールは、次のとおりです。

	1年目 H28年度	2年目 H29年度	3年目 H30年度	4年目 H31年度	5年目 H32年度	6年目 H33年度 以降
杵島山系 エコ ツーリズム	ルートの検討	案内・説明板、 各種施設整備	ルートの維持管理			
しろいし 周遊観光	ルート、 いこか 一等の 検討	観光重点スポットの 改善整備	観光スポットの改善整備			
	誘導標識整備	観光案内所の整備・運営 H31道の駅オープン（構想）				
農漁村体験 ツーリズム	特産づくり・ ブランド化検討	プログラム提供者・協力者の 募集		プログラ ム実施の 準備	学習・交流プロ グラムの実施	
		学習・交流 プログラムの立案	プログラム実施の広報 参加者の募集			

### 3-4 推進のための役割と体制

観光まちづくりを推進するにあたっては、本観光振興基本計画を着実に実行に移していかなければなりません。そのためには、町役場はもとより、観光関連事業者や町民のそれぞれの役割を明確にし、各主体が取り組む活動を相互に連携、調整、支援協力するための協働体制の確立が重要です。

そこで、本観光振興基本計画に関わる各主体に期待される役割及び推進組織は、以下のとおりです。

#### 【各主体の役割】

##### ◆町役場

- 観光振興基本計画に基づく事業施策の推進
- 観光関連事業者・団体及び町民の調整、支援
- 観光振興推進組織（観光振興協議会）づくりの支援

##### ◆観光関連事業者

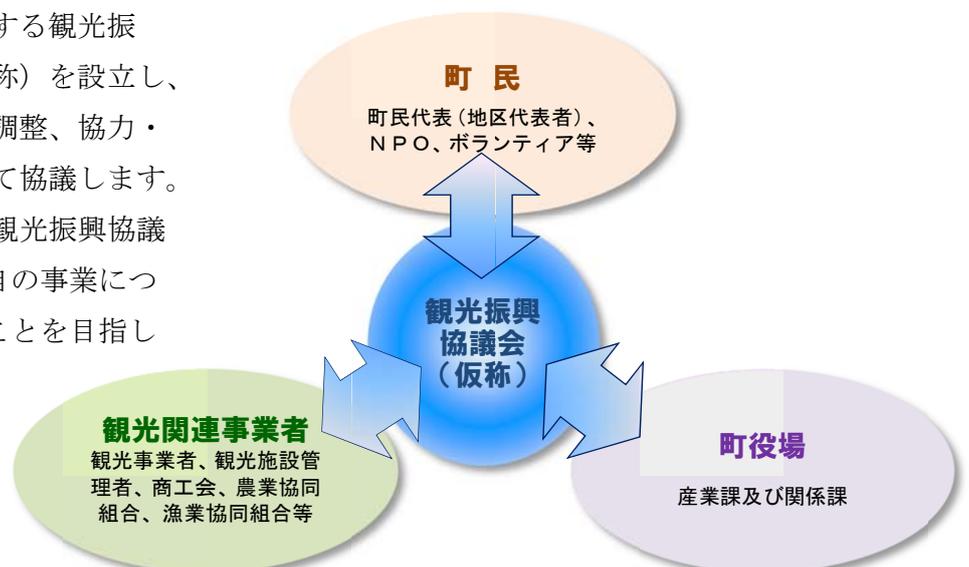
- 観光事業、観光プロモーションの実施
- 観光関連事業者・団体相互の情報交換、連携、協力
- 行政の事業施策への協力、参画

##### ◆町民

- 町の観光資源・施設に関する知識向上
- 観光客との積極的なふれあい、交流（観光ガイド、地域の観光資源を維持・管理する個人・団体、民泊提供者、体験交流プログラム指導等）
- 行政の事業施策への協力、参画

#### 【観光推進組織】

- 町役場、観光関連事業者、町民から構成する観光振興協議会（仮称）を設立し、各主体相互の調整、協力・支援等について協議します。
- 将来的には、観光振興協議会（仮称）独自の事業について取り組むことを目指します。



## □資 料

### 資料1 観光関連団体ヒアリング

白石町内の観光関係団体ヒアリング調査の結果を整理すると、次のとおりです。

#### ◆関連団体の概要

団体・事業所名	目的	事業内容
白石町商工会（観光・サービス部会）	白石町の歴史的資源（名所旧跡）の掘り起こし及び観光探訪マップ（見てさ〜く）作成による町の紹介・アピールを行い、町内外からの誘客を図り、もって地域商工業の振興に結びつける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企画運営検討会議の開催</li> <li>○各種イベント及び事業の計画・実施</li> </ul> <実績・継続事業等> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内飲食店紹介グルメマップ（食べてさ〜く）作成町内配布</li> <li>・町（年間三大）まつりへの参加イベント実施（チャリティー活動を合わせて実施）</li> <li>・町スポーツイベントへの企画参加等</li> <li>・商店街コミュニティー施設（元気のたまご）利活用推進（情報発信・文化教室、街区への誘客イベント等実施）</li> </ul> <平成27年度以降の主要計画> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史・観光探訪マップ（見てさ〜く）企画・制作・普及推進</li> </ul>
佐賀県農業協同組合 白石地区中央支所	組合員の営農と暮らしを守り、安全、安心、良質な農畜産物を消費者に届けるとともに、人と地域に信頼されるJAをめざす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種業種部会等の開催</li> <li>・イベント               <ul style="list-style-type: none"> <li>①白石地区農業まつり</li> <li>②各種大会等</li> </ul> </li> </ul>

団体・事業所名	目的	事業内容
有明スカイパーク ふれあい郷	農業農村地域における町民の産業、文化及びスポーツ活動の振興、公共的な団体への援助を図り、都市住民との交流を行い、個性豊かな農村地域文化の創造に寄与することを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール、トレーニングジム（爽明館）</li> <li>・各種イベント開催（多目的ホール）</li> <li>・宿泊施設（遊喜館）</li> </ul>
㈱只江川スポーツパーク むつごろうカントリークラブ (第3セクター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・只江川周辺環境美化</li> <li>・町民との融和と体力増強</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種のゴルフ大会（コンペ等）</li> </ul>
福富産物直売所	白石町の地元の野菜の販売することを目的とし、広く白石町の特産品をPRしていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直売所創業祭（2月）</li> <li>・直売所玉葱祭り（5月）</li> <li>・直売所スイートコーン収穫祭（6月）</li> <li>・直売所蓮根祭り（10月）</li> </ul>
縫ノ池湧水会	40年ぶりの湧水を守り、縫ノ池を地域住民の憩いの場・交流の場づくりを行うとともに、縫ノ池の自然環境の保全と縫ノ池や巖島神社の歴史文化を大切に豊かな地域づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会（イベント計画の立案）</li> <li>・キャンドルナイト（毎年7月15日）</li> <li>・釣り大会（毎年8月下旬）</li> <li>・秋の茶会（毎年10月下旬）</li> </ul>
白石遊漁船会	遊漁船を活用した海浜レクリエーションの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・潮干狩り</li> <li>・花火大会</li> <li>・精霊流し</li> <li>・体験学習</li> </ul>

◆観光関連団体の方針・問題点

団体・事業所名	今後の事業方針・事業計画	事業展開の問題点
白石町商工会（観光・サービス部会）	歴史・観光探訪マップ（見てさ〜く）の内容充実・有効活用に向けて、町との連携を密にして進める。	○主幹・リーダーの育成 ○専門的知識・ノウハウを有する人材の発掘・登用 ○企画立案・制作上の予算確保
佐賀県農業協同組合 白石地区中央支所	「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向けた取り組み	農業従事者の高齢化と後継者の不足等、農業の生産基盤が脆弱化している
有明スカイパーク ふれあい郷	職員数が少なく、単体での事業は困難なため、町内各種団体との連携を図りたい。	
㈱只江川スポーツパーク むつごろうカントリークラブ (第3セクター)	ゴルフ場周辺の環境整備及びネットワーク作り	パークゴルフ場整備で集客が増えていくのか
福富産物直売所	イベント等の見直し	専門家・プロの知識がほしい
縫ノ池湧水会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化のためにも近隣都市住民との交流を深めていく。そのためのイベントのPRと多くの人たちが参加できる内容にしていく。</li> <li>・子どもたちに水の大切さや水の生きものを大事にすることを教えていく。</li> <li>・古い時代から残る伝説や言い伝えなど歴史文化を教えて、ふるさとを大事にする子どもたちを育てていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動資金の確保</li> <li>・リーダーの後継者</li> </ul>
白石遊漁船会		<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚、貝類の減少</li> <li>・会員の減少</li> </ul>

## ◆観光振興に関する提案・意見等

### <観光資源の整備・ネットワーク化>

- 杵島山系には古い歴史のある神社仏閣があり、これらを結んだ観光ルートを作り、サイクルロードやウォークラリーができる整備を行う。
- 観光コースによっては、観光と農産物販売の組み合わせを作っていく。
- 食（農海産物・飲食店）のマーケットとイベントの結びつきを目指した企画。

### <観光資源の整備・管理>

- 収穫体験等の農業体験を通じた消費者への白石町のアピールなど。
- 町は、観光資源の整備や維持管理の行き届いていないところがある。観光客がいつ来ても楽しめるようにしておくことが必要。

### <各種団体、行政の連携>

- 今現在直売所独自で祭り等行っているが、行政、JA等の協力がほしい。
- 早急に観光関連のネットワーク作りが必要。
- 観光資源のある地域（観光関連団体）への助成を行い、観光資源の保全や管理、観光客への説明や世話を任せる。（高齢者の活用）
- 町広報紙その他広報媒体等を通して、町民の意見・アイデアを募る企画を立案する。（スポーツ、イベント、祭典等いくつかのジャンルにポイントを絞って行う。）
- 観光資源保全等に対する助成金交付は妙案。

## 資料2 観光推進協議会の開催概要

### ◆白石町観光推進協議会の開催・協議事項

回数	開催日	主な協議内容等
第1回	平成27年 11月2日	○会長及び副会長の互選 ○白石町観光推進計画案の協議 (1) 計画策定の趣旨及び白石町観光の現状 (2) 観光振興の課題 (3) 観光振興のコンセプト・基本方針
第2回	平成27年 12月3日	○九州グリーンツーリズムシンポジウム2015 in 佐賀に参加 ○白石町観光推進計画案の協議 (1) 観光振興のコンセプト・基本方針 (2) 基本施策
第3回	平成28年 1月26日	○白石町観光推進計画案の協議 (1) 重点施策（アクションプログラム）
第4回	平成28年 2月23日	○白石町観光推進計画書の協議 (1) 観光ルート (2) 白石町観光推進計画書概要版
第5回	平成28年 3月3日	○観光ルート案の現地確認 ○白石町観光推進計画書の確認 ○白石町観光推進計画書概要版の確認

### ◆白石町観光推進協議会の委員名簿

	団 体 名	氏 名
会長	川津資源保全隊（縫ノ池湧水会）	赤坂 宗昭
副会長	白石町商工会	秀島 正洋
委員	3直売所代表 福富産物直売所	久原 淳子
委員	佐賀県有明海漁業協同組合（遊漁船会）	片渕 茂也
委員	株式会社 只江川スポーツパーク (むつごろうカントリークラブ)	支配人 岩永信秀
委員	白石町まちおこし運営委員会	副委員長 坂口 誠
委員	公益法人白石町文化振興財団（ふれあい郷）	金井 寛
委員	J A さが白石地区中央支所	営農企画課長 木村昌則
委員	有識者（神社仏閣）	宗 美寿恵
委員	白石町議会	前田 弘次郎
委員	白石町	副町長 百武 和義

## ◆白石町観光推進協議会設置要綱

(設置)

第1条 白石町の新たな観光振興を、長期的な展望に立って、総合的かつ計画的に推進するため、白石町観光推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次の事項についてその方針を協議する。

- (1) 白石町観光振興計画の策定に関する事。
- (2) 観光資源の発掘、保全及び通年観光に関する事。
- (3) 観光施設等の利活用に関する事。
- (4) 前3号のほか、前条の目的を達成するために必要な事項に関する事。

(構成)

第3条 協議会は、委員10人程度をもって組織し、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 白石町
- (2) 白石町商工会
- (3) 農業協同組合
- (4) 町内の観光施設、店舗、ゴルフ場その他の施設を運営する者
- (5) 観光振興について広く知識を有する者
- (6) その他町長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、当該年度の末日までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときはその職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議は、必要に応じ会長が招集する。

- 2 会議の議長は、会長が務める。
- 3 協議会は、委員の過半数以上の出席がなければ開会することができない。
- 4 協議会は、必要に応じて委員以外の関係者の出席を求め意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、産業課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、その都度会長が協議会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成27年9月17日から施行する。

白石町観光振興基本計画

平成 28 年 3 月

---

発行：白石町役場産業課商工観光係

〒849-1192 佐賀県杵島郡白石町大字福田 1247-1

電話 0952-84-2111

編集協力：昭和株式会社 九州支社